小学校　第５学年「図画工作科」シラバス

図画工作科の内容構成

次の３内容です
○楽しい造形活動をする
○絵や立体、つくりたいものをつくる
○関心をもって見る

５年生の目標

○創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに，つくりだす喜びを味わうようにする。

○材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し，主題の表し方を構想するとともに様々な表し方を工夫し，造形的な能力を高めるようにする。

○親しみのある作品などから，よさや美しさを感じ取るとともに，それらを大切にするようにする。

★評価の観点

①造形への関心・意欲・態度
　自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだすことや美しさなどを感じ取ることなど造形表現活動を積極的に楽しみ、喜びを味わおうとする。
　→行動観察
②発想や構想の能力
　見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい発想で、つくりたいものの意図や美しさを考えるなど豊かな構想をする。
　→行動観察・作品・題材選び
　　アイデアスケッチ
③創造的な技能
　表したい意図や周りの様子に関連づけながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方工夫する。
　→行動観察・作品
④鑑賞の能力
　造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったり、味わったりする。
　→行動観察・相互評価
　　自己評価・鑑賞メモ

	学習する題材の名称	主な学習内容
前期	・感じたことを伝えたい	・自分の身の回りの情景から表したいことを見付け，絵に表して伝えます。
	・粘土の板から	・板の形にした粘土を変形させることから想像を広げ，空想の生き物をつくります。
	・板を切り抜いて	・電動糸のこぎりを使って，楽しく遊んだりかざったりするものをつくります。
	・ふれあい活動啓発ポスター	・知らせたい、訴えたい内容を理解し、絵や文字などの内容をどのように表したらよいか考え、ポスターをかきます
後期	・不思議な絵	・不思議に見える表現があることに気がつき，そのおもしろさを味わいます。
	・タワーをたてよう	・アルミ針金の曲げ方や立たせ方を工夫して、美しいタワーをつくります。
	・想像のつばさを広げて	・物語の中で、心をひかれた場面の様子を自分が感じた雰囲気が伝わるように絵に表します。
	・アレッ？コレナニ？	・身近な場所に本物そっくりの巨大なもの、意外性のあるものをつくります。
	・刷り重ねて表そう	・彫ったり刷ったりしながら、線や色の調子や重なりを確かめて、多色木版に表します。
	・アートレポーターになって	・美術作品について、表された内容を読み取り、自分の考えを文章にまとめます。